

会告 No.1

2025

◇通知・案内事項

○第90年会開催案内 「一般研究発表」講演募集「シンポジウム」企画募集 本号4ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2025)	(2026)
◇年会	3/12～14(東京理科大学)	
◇秋季大会		
◇支部大会		
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会告ページ
2025年1月 January			
10	共通基盤技術シンポジウム2025～クライオ電子顕微鏡技術を活用した液状材料・プロセス研究の新展開～(兵庫県)		10号9
16	第17回機能性微粒子分科会セミナー(オンサイト(鹿児島県)とオンラインのハイブリッド)	1月14日(火)	12号7
20	岡山地区化学工学会懇話会 第76回化学工学コロキウム(岡山県)	1月8日(水)	12号7
23	クローズアップシリーズ2024「CO ₂ 削減のための電気を利用した製造プロセス」(東京理科大学 森戸記念館およびオンライン)	1月14日(土)	本号6
24	第69回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城県)	1月14日(火)	12号8
24	第1回反応装置セミナー～反応装置の設計・操作の基礎から応用まで～(1/24)(大阪府)	1月17日(金)	12号8
27～29	「反応器の設計」講座(1/27-29)(東京都)	1月17日(金)	11号9
30～31	「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(1/30-31)(オンライン)	1月19日(日)	11号10
31	重合工学レクチャーシリーズNo.11「ラテックス研究最前線～重合、塗料かから塗膜形成まで～」(大阪府)	1月24日(金)	12号8
31	第37回CES21講演会「地域で創出する新たな価値－水素／アンモニア／メタネーションによる脱炭素サプライチェーンの構築－」(大阪府)		12号9
2025年2月 February			
4	山口地区化学工学会懇話会2024年度 第84回講演会・見学会(山口県)	1月22日(水)	本号7
6～7	「モデリング技術の基礎と実践」講座(2/6-7)(東京都)	1月29日(水)	11号10
6～7	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向：講演&見学会」(大阪府ほか)		12号9
13	2024年度コンビナート講習会「進化する現場：デジタルソリューションの実装と課題」(ハイブリッド開催)	1月14日(土)	本号7
2025年3月 March			
8	第27回化学工学会学生発表会(オンライン)	12月6日(金)	12号6
12～14	第90年会(東京理科大学 葛飾キャンパス)		12号5
12～14	化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)		11号8
12～14	化学工学会第90年会(3/12-14)(東京都)		本号4

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
11月29～30日	International Symposium on Chemical Engineering 2024 (第35回化学工学に関する国際シンポジウム)(ISChE2024)(沖縄県)	7月31日(水)	6号13

12月10日	International Symposium “Blue Credit : Current Status and the Future” (国際シンポジウム ブルークレジットの現状と将来)	12月5日(木)	10号10
--------	---	----------	-------

◇共催・協賛行事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行事(場所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2024年度化学人材育成プログラム協議会(東京都他)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikusei/Prog/index.html
技術英語能力検定(令和六年度)(主催者が設定する全国の試験会場)	2024年4月1日～ 2025年3月31日 (月～月)	一般社団法人日本 能率協会	03-3434-1955 jstc@jma.or.jp https://jstc.jma.or.jp/
第46回安全工学セミナー(東京都及びオンライン)	2024年8月27日～ 2025年1月24日 (火～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/f81c7fc76e69b6e74bf6d30da560a48b?frame_id=991
KISTEC教育講座「MI×データ科学」(オンライン)	1月8～16日 (水～木)	神奈川県立産業技 術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/mibydatascience/
International Symposium on Green Transformation Initiative and Innovative Zero-Carbon Energy Systems (GX1-ZES) (東京都)	1月14～16日 (火～木)	東京工業大学科学 技術創成研究院ゼ ロカーボンエネル ギー研究所および グリーントランス フォーメーション イニシアティブ (Tokyo Tech GX1)	03-5734-3284 (03-5734-3284) gxi-zes@zc.iir.titech.ac.jp https://gxi-zes.org/
第37回自律分散システム・シンポジウム(山口県)	1月15～16日 (水～木)	計測自動制御学会 システム・情報部 門 自律分散シス テム部会	083-933-5691 das37th@gmail.com https://sites.google.com/sice-das.org/das37th
原子力総合シンポジウム2024(東京都)	1月20日(月)	日本学術会議(幹 事学会:日本原子 力学会)	03-3508-1261 (03-3581-6128) tomita@aesj.or https://www.aesj.net/natlsymp2024
第36回高分子ゲル研究討論会(東京都)	1月22～23日 (水～木)	高分子学会 高分 子ゲル研究会	03-5540-3771 resg1@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
腐食防食部門委員会第358回例会「インヒビター技術の最前線」(大阪府)	1月23日(木)	公益社団法人日本 材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimmu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp
第18回 日本電磁波エネルギー応用学会研究会— 先端技術とその実用化へのヒント — (オンライン)	1月24日(金)	日本電磁波エネル ギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org https://www.jemea.org/?p=59651/
第30回高専シンポジウム(岡山県(オンライン併設))	1月25日(土)	一般社団法人高専 シンポジウム協議 会	050-1737-1040 jimmu@kosen-sympo.org https://kosen-sympo.org/30th/
第42回プラズマプロセッシング研究会(SPP-42)(大分県)	1月28～30日 (火～木)	応用物理学会 プ ラズマエレクトロ ニクス分科会	092-802-2755 SPP42.2025@gmail.com https://gakkai-gran.jp/spp42/index.html

第41回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス(東京都)	1月28～29日 (火～水)	一般社団法人エネルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) gyoji@jsr.gr.jp https://www.jsr.gr.jp/
半導体産業の現状と課題－これからの日本を支える半導体技術－(大阪府)	1月31日(金)	一般社団法人 表面技術協会 関西支部, 公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部	075-823-1794 (075-823-9326) hirade@shimadzu.co.jp https://www.jvss.jp/chapter/kansai/hyoumengijutsu2025/
革新的CO ₂ 分離回収・有効利用技術シンポジウム(東京都, オンライン)	2月5日(水)	公益財団法人地球環境産業技術研究機構	077-475-2305 bunrisympo@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/news/events/2024/12/co2_202525.html
第200回腐食防食シンポジウム(東京都)	2月6日(木)	公益社団法人 腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/200.html
水素・ガスエンジン関連施設見学会(神奈川県)	2月21日(金)	(一社)日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/1009/
第16回日本複合材料会議(JCCM-16)(東京都)	2月27日～3月1日 (木～土)	日本複合材料学会, 日本材料学会	03-5981-6011 (03-5981-6012) jscm@asas-mail.jp http://www.jscm.gr.jp/conference/jccm-16/
生産システム部門研究発表講演会2025(山口県/オンライン)	3月3～4日 (月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 msd2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/msd/102_kouen25-6/
ISPlasma2025/IC-PLANTS2025(愛知県)	3月3～7日 (月～金)	公益社団法人 応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2025@intergroup.co.jp https://www.isplasma.jp/ (近日公開)
第42回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月22～23日 (火～水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
第62回日本伝熱シンポジウム/HTSJ国際伝熱シンポジウム(沖縄県)	5月14～17日 (水～土)	公益社団法人日本伝熱学会	045-924-5016 (045-924-5016) symp2025@htsj-conf.org https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/htsj2025
International Symposium on Scheduling 2025(東京都)	6月28～30日 (土～月)	スケジューリング学会	052-789-4239 (052-789-4239) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2025/
第4回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議(英文名) The 4th International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2025)(兵庫県)	7月1～4日 (火～金)	日本計算工学会(JSCES), 日本計算力学連合(JACM)	078-940-5541 compsafe2025@compsafe2025.org https://www.compsafe2025.org/
第62回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月2～4日 (水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
第8回材料界面の評価と制御に関する国際会議 The 8th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2025)(山梨県)	7月8～11日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 045-339-3957 iccci2025@ynu.ac.jp https://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2025/
環境工学ワークショップ2025(IWEE2025) & 第35回環境工学総合シンポジウム2025(北海道)	7月18～21日 (金～月)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 env-symp2025@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/env/iwee/2025/

化学工学会第90年会 参加募集

会場：東京理科大学 葛飾キャンパス(〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1)

※口頭の一部シンポジウムはオンライン参加も可能とする予定です

会期：2025年3月12日(水)～3月14日(金)

※一部シンポジウムは3月11日(火)実施予定です

懇親会会場：東京理科大学 葛飾キャンパス 管理棟1階「食堂」

懇親会日時：2025年3月13日(木) 夕刻(予定)

参加登録期間：第一期 2025年1月6日(月)～1月27日(月)23:59

第二期 2025年1月28日(火)～2月12日(水)23:59

第三期(含む当日) 2025年2月13日(木)～3月14日(金)12:00

大会 Web サイト URL : <https://www4.scej.org/meeting/90a/>

会場アクセスサイト URL : https://www.tus.ac.jp/access/katsushika_campus/

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第90年会は、2025年3月12日(水)～14日(金)の3日間(一部シンポジウムは会期前日11日(火)実施)、東京理科大学 葛飾キャンパス(JR常磐線(東京メトロ千代田線)「金町」駅/京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分)にて開催されます。懇親会も開催を予定しています。

本大会では、参加登録期間が三つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で併催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2025 (ICHES 2025)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本大会の実施形態について

本大会ではオンライン開催を基本とし、口頭の一部シンポジウムのみライブ配信併用で実施する予定です。したがって、オンライン参加はライブ配信対象セッションに限られます。ご注意ください。

ライブ配信対象セッションについては、大会Webサイトをご確認ください。

なお、ライブ配信対象講演については自動公衆送信とみなされますので、発表内容に他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。

なお、オンライン参加・オンライン参加に係らず一切の録音・録画・撮影を禁じます。

懇親会

東京理科大学 葛飾キャンパス 管理棟1階「食堂」にて、会期二日目3月13日(木)夕刻に立食形式にて開催いたします。

奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

参加登録期間は以下の三つです。

第一期 1月6日(月)～1月27日(月)23:59まで

第二期 1月28日(火)～2月12日(水)23:59まで

第三期(含む当日) 2月13日(木)～3月14日(金)

12:00まで

注意事項

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期では第三期の参加料金より参加費(大会、懇親会)がそれぞれ2,000円お安くなります(会員外の方の参加費(大会)のみさらに3,000円お安くなります)。

第二期では第三期の参加料金より懇親会料金のみ1,000円お安くなります。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例：第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇懇親会について

本大会も事前申込制といたします。参加登録の際にお申込みください。定員に達した場合は早期に締め切る可能性があります。なお定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性があります。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご理解ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期一週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内いたしますので、そちらに従ってお手続きをお願いいたします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格

でのお申し込みはできません。年会費をお支払いただいてからweb上で確認できるまで二週間程度かかることがありますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、指定海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2025年度(2025年3月～2026年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みかによらず、第二期締切日(2025年2月12日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、また第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくことになります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

講演要旨の事前公開日の前日までに事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトにて講演要旨を事前公開いたします。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。公開日以降に参加登録された方へのお知らせは、参加費のお支払い完了メールにID、PWを記載してお知らせいたします。

本大会の講演要旨公開は、2025年2月26日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子(印刷版)は別売りです。参加登録時に購入いただいた方には、大会当日に受付で冊子をお渡しいたします。現地参加されなかった方には会期後に郵送いたしますのでお申し出ください。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

本大会から、講演要旨集はダウンロード提供となります。参加登録者全員に講演要旨集のダウンロードURLとID、PWをお知らせいたします。

大会に参加登録されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、大会終了後にダウンロードURLとID、PWをお知らせする形となります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光株式会社 東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
 E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日 10時～17時

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第90年会 実行委員会
 E-mail: inquiry-90a@www4.scej.org

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (1/6～1/27)	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外連携会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	16,000円	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	13,000円	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円	
(*2)AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化工学会, CSCHe: カナダ化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwICHe: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	28,000円	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	懇親会費			備考
	第一期 (1/6～1/27)	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	
本会個人会員(正会員・教育会員・海外正会員・海外連携会員)	6,000円	7,000円	8,000円	課税税込
本会個人会員(永年会員・シニア会員・学生会員・ジュニア会員・海外学生会員)	4,000円	5,000円	6,000円	
本会法人会員に属する方, 懇話会会員, 部会個人・法人賛助会員	6,000円	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生以外)	6,000円	7,000円	8,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	4,000円	5,000円	6,000円	
上記いずれにも該当しない方	6,000円	7,000円	8,000円	
(*2)AICHe: 米国化学工学会, CIESC: 中国化工学会, CSCHe: カナダ化学工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe: 韓国化学工学会, TwICHe: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				

※定員に余裕がある場合は当日現地での受付を行う可能性があります。その場合の価格は10,000円(税込)均一・現金のみとする予定です。

講演プログラム集冊子(印刷版)

会員資格	講演プログラム集冊子			備考
	第一期 (1/6～1/27)	第二期 (1/28～2/12)	第三期 (2/13～当日)	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	2,200円/部	2,200円/部	税込
本会非会員				

※第三期は在庫がなくなり次第、販売終了となります。

講演要旨集(ダウンロード)

会員資格	講演要旨集(ダウンロード)			備考
	大会参加者	大会終了後 別途購入		
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	大会参加費に 含む	12,100円/個	税込	
本会非会員		23,100円/個		

地 域 C T



関 東 支 部

クローズアップシリーズ2024
「CO₂削減のための電気を利用
した製造プロセス」

主催 (公社)化学工学会 関東支部

化学業界では年々高まる環境問題への対応のため、各社志向を凝らした製造技術開発が、益々強力に推進されています。その中で電気を利用した反応場を活用した方法が盛んに行われています。この電化技術は、化石燃料に代わるサステイナブルなエネルギー源として太陽光、地熱、風力などから得られる電気エネルギーをダイレクトに使える点でも、トータルでCO₂削減にもつながる重要技術でもあります。

そこで今年度のクローズアップでは、モノづくりにおける電気を利用した製造プロセスに焦点を当てた講演会を開催する運びとなりました。

最新技術が紹介されるため、製造の電化関連はもちろんのこと、環境関連技術を扱う企業の関連部署、ならびにアカデミアの方々のご参加をお待ちしております。

日時 2025年1月23日(木) 13:00~17:05 (懇親会: 17:20~19:00)

会場 東京理科大学 森戸記念館 およびオンライン(ハイブリッド開催)

対面開催地 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2

https://www.rs.tus.ac.jp/jspm22/access_morito.pdf

募集人員 会場 50名+オンライン 100名

※お申し込み時に「会場」または「オンライン」を選択してください。

※会場参加は先着順とし、上限を超えた場合はオンラインとさせていただきます。

募集締切 2025年1月14日(火)

参加費 正会員 9,000円、法人会員社員 12,000円、会員外 15,000円、学生会員 2,000円

懇親会 講習会終了後、大学内別会場にて、懇親会を開催いたします。

参加をご希望される方は、講演会お申込時に「懇親会参加」もあわせてご選択ください。

参加費は、3,500円とさせていただきます。

申込方法 関東支部ウェブサイト (<http://www.scej-kt.org>) の行事開催のご案内の「クローズアップシリーズ2024」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項をご記入の上、送信下さい。

支払方法 お申し込み受付後、1~3日程で、ご登録いただきましたメールアドレス宛に請求書をお送りいたします。

※締め切り後のキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

問い合わせ 公益社団法人 化学工学会関東支部 〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階

TEL : 03-6801-5563, E-mail : info@scej-kt.org

プログラム

<開会挨拶>

13:00~13:05 公益社団法人 化学工学会 関東支

部 幹事 出光興産株式会社 金子 安延氏
<講演>

13:05~13:55

講演1:「固体リン酸塩電解質を用いたアンモニア電解合成」 北海道大学 菊地 隆司氏
電気化学セルを用いたアンモニア合成は、温和な条件で反応を進行させることができるため起動停止性が高く、再生可能エネルギーとの親和性が高い。本講演では、固体リン酸塩電解質を用いた電気化学セルでのアンモニア合成における、電極触媒の選択性への影響や反応機構について紹介する。

13:55~14:35

講演2:「電気化学技術を活用したe-fuelおよびグリーンアンモニア合成プロセスの開発」

出光興産株式会社 ジョアチンシン氏
出光興産はカーボンニュートラル社会の実現に向けて、バリューチェーン全体を通じたCO₂削減・資源化にも挑戦している。本講演では、当社のカーボンニュートラルに関する取り組みおよび電気化学を利用したCO₂由来合成燃料(e-fuel)やグリーンアンモニア合成技術の研究開発状況について紹介する。

休憩: 14:35~14:50

14:50~15:30

講演3:「石炭灰をリサイクルして土木用資材として有効活用する事業の概要と石炭灰を活用したマイクロ波によるCO₂リサイクル技術の研究開発」

中国電力株式会社 中本 健二氏
石炭灰を土木・環境用資材にリサイクルする石炭灰有効活用事業の概要とともに、将来の新製品となる石炭火力発電所のCO₂とマイクロ波を活用した焼結体(軽量緑化基盤材)を製造するカーボンリサイクル技術の開発状況を紹介します。

15:30~16:10

講演4:「中外炉工業の脱炭素に向けた取り組み」

中外炉工業株式会社 田中 亮太郎氏
弊社は熱技術を核とする設備エンジニアリング会社であり、その製品からは多くのCO₂が排出されます。カーボンニュートラルに向けて開発を強化している「省エネ」「電化」「水素燃焼」「アンモニア燃焼」の技術について紹介する。

16:10~16:50

講演5:「エチレンプラント分解炉電化技術の最近の動向」

東洋エンジニアリング株式会社 花光 泰造氏
ナフサなどの原料を熱分解して生成するエチレンプラントにおいて、最大のエネルギー消費源である分解炉の電化に関して、各電化技術(通電加熱、輻射加熱など)の概要および各社技術開発の動向について紹介する。

<全体質疑>

13:05~13:55

<閉会挨拶>

17:00~17:05

公益社団法人 化学工学会 関東支部 第二企画委員 長 住友化学株式会社 森村 直樹氏

<懇親会>

17:20~19:00 東京理科大学 神楽坂キャンパス 8号館

2024年度コンビナート講習会
「進化する現場：デジタルソリューションの実装と課題」

主催 (公社)化学工学会 関東支部

石油精製・化学等のプラントの制御・運転管理・安全確保・研究開発の現場では、近年の技術革新の流れに伴いIoT、ビッグデータ、AI等のDX技術の活用が盛んに検討されてきました。現在これらのデジタルソリューションは活用構想の段階から一部は実装の段階に移行しています。本講習会では、各種デジタルソリューションによって変革された現場の実状や、新たに見えてきた実装段階の課題の最新動向を幅広くご紹介いたします。

DX技術の導入や実装に関心がある方、現場での具体的な事例や課題解決の実状を学びたい方の一助となりましたら幸いです。

日時 2025年2月13日(木) 13:10~17:00

会場 東京理科大学 森戸記念館 およびオンライン(ハイブリッド開催)

対面開催地 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4丁目2-2

https://www.rs.tus.ac.jp/jspm22/access_morito.pdf

募集人員 会場 50名+オンライン 100名

※お申し込み時に「会場」または「オンライン」を選択してください。

※会場参加は先着順とし、上限を超えた場合はオンラインとさせていただきます。

募集締切 2025年2月3日(月)

参加費 正会員 9,000円、法人会員社員 12,000円、会員外 15,000円、学生会員 2,000円

懇親会 講習会終了後、会場近隣の飲食店にて、講師も参加の懇親会を開催いたします。

参加をご希望される方は、講演会お申込時に「懇親会参加」もあわせてご選択ください。

参加費は、5,500円とさせていただきます。

申込方法 関東支部ウェブサイト (<http://www.scej-kt.org>) の行事開催のご案内の「コンビナート講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きます。必要事項をご記入の上、送信下さい。

支払方法 お申し込み受付後、1~3日程で、ご登録いただきましたメールアドレス宛に請求書をお送りいたします。

※締め切り後のキャンセルの場合には、参加費をご請求させていただきます。

問い合わせ 公益社団法人 化学工学会関東支部 〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階

TEL : 03-6801-5563, E-mail : info@scej-kt.org

プログラム
<開会挨拶>

13:10~13:15 公益社団法人 化学工学会 関東支部 担当幹事 真木 晶氏

<講演>

13:15~13:50

「現場による現場のためのデジタルツインの育て方」

ブラウリーパース株式会社 金丸 剛久氏

2年間で国内60事業所へファストデジタルツインを導入した実績から、「DX構想はあるが導入が進まない」「デジタルツール導入したが活用が広まらない」といった課題に焦点を当



中国四国支部

山口地区化学工学懇話会 第84回講演会・見学会

主催 山口地区化学工学懇話会、化学工学会中国四国支部、山口大学化学プロセス強化研究教育推進体

日時 2025年2月4日(火) 13:20~18:30

会場 三新化学工業株式会社、柳井クルーズホテル

13:20~15:20 講演会

講演1 「カーボンニュートラルに向けたプロセス設計と評価」

産業技術総合研究所 片岡 祥氏
講演2 「不溶性硫黄の物性に及ぼす熱処理の影響について」

三新化学工業株式会社 寺田 直樹氏
15:20~17:00 企業見学会 (三新化学工業株式会社 平生工場)

17:00~18:30 技術交流会

参加費 講演会、見学会は無料です。技術交流会は有料(1,000円)です。

申込方法 詳細を下記webページに掲載します。1月22日(水)までにお申し込み下さい。なお、見学会については定員(30名)に達した場合、懇話会会員を優先させていただくなど、お申込みをお断りすることがあります。ご了承ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~konwakai/>

て、現場での運用を前提としたデジタルツインの育成方法について考察する。

13:50~14:25

「現場の力をAIに乗せるデジタルパワープラント = DPP」

株式会社 JERA 亀井 宏映氏

JERAは、発電会社のユーザー技術と最新のデジタル技術を活用し、本社・発電所の働き方改革を進めている。少子高齢化や技術の継承といった課題に対する一つのアプローチとして、参加者と共有したい。

14:25~15:00

「樹脂工場におけるスマート化技術の実装例」

旭化成株式会社 福田 滋氏

工場のスマート化における品質向上、ロス削減、稼働率向上にはプロセスデータの活用が欠かせない。旭化成における、工場データ活かすために構築するデータ収集基盤や現場データのデジタル化、これらを活用し工場の高度化を目指したスマート化技術の実装例を紹介する。

15:00~15:10 【休憩】

15:10~15:45

「データの利活用によるスマート保安への取り組み」

三井化学株式会社 八坂 直登氏

プラント運転データ、設備点検記録、プラントトラブルや労働災害の記録、技術検討書など多くのデータ類の解析・検索性を高めることで、運転・設備・保安管理における高度な意思決定に繋げることが出来る。当社におけるデータの利活用状況等について紹介する。

15:45~16:20

「AIを活用した材料開発の変革の取り組み」

住友化学株式会社 有田 通朗氏

住友化学は、事業の競争力強化と新たな価値創造のためにDXを推進している。多岐にわたる取り組みの中から、本講演ではデータ駆動型の研究開発手法であるマテリアルズ・インフォマティクスがもたらす変革に焦点を当て、AI分子設計などの具体例を紹介する。

16:20~16:55

「スマートファクトリー実現に向けた取り組みと課題」 三菱ケミカル株式会社 奥津 肇氏
三菱ケミカルでは、スマートファクトリーの実現に向けた製造DXのロードマップを定めており、現在は「考える工場」をキーワードとしてデータドリブンな意思決定や自動化の技術導入を進めている。本発表ではこれらの技術的な切り口に加え、全社をあげたDX推進に向けた種々の取り組みについて紹介する。

<閉会挨拶>

16:55~17:00 公益社団法人 化学工学会 関東支部 第二企画 委員長 森村 直樹氏

<懇親会> (会場参加者の希望者/別会場へ移動)

17:20~19:20 東京理科大学森戸記念館 近隣の飲食店

部 会 C T

第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議 The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025)

本国際シンポジウムは、化学工学会エネルギー部会が2007年に創設しました。エネルギー部会では2001年より化学工学のエネルギー分野への貢献性を理解するためエネルギーロードマップの検討が進められ2005年にエネルギーロードマップ第1版を発刊し [1]、この発刊過程でエネルギー材料のエネルギー社会における重要性を認識し、革新的エネルギー材料とプロセスに特化した国際的な交流の場として当シンポジウムが形成されました。第1回が2007年に京都で成功裏に開催され、幸い国際的に継承され、2010年に第2回がシンガポールにて、2013年に第3回が福岡、2016年に第4回がシチリア島(イタリア)にて200人超で開催されました。そして、2019年に第5回を金沢(国内127名、海外47名、計174名)で、化学工学会との共同主催で開催しました。この間ロードマップ2,3版が刊行され [2,3]、低炭素社会実現においてエネルギー材料、プロセスの革新がより一層重要であることが明らかになり、本会議の必要性が一層高まったと見られます。その後、新型コロナウイルス流行が落ち着きつつある2022年に第6回をバルセロナで、そして、再び2025年に第7回を仙台で開催することとなりました。

カーボンニュートラル社会の実現を目指す今、エネルギー材料・プロセスに関わる研究分野への注目は益々増しており、多くの研究者が会して活発な議論を行う場になりたいと考えます。

[1] H. Kameyama and Y. Kato ed., HONEBUTO Energy Road Map (Honebuto no Energy Road Map) (in Japanese), Kagaku-Kogyo-Sha, Tokyo, Japan (2005).

[2] Y. Kato, et al., (Eds.), HONEBUTO Energy Road Map 2 (Honebuto no Energy Road Map 2) (in Japanese), Kagaku-Kogyo-Sha, Tokyo, Japan (2010).

[3] Y. Kato, et al., (Eds.), "Energy Technology Roadmaps of Japan- Future Energy Systems Based on Feasible Technologies Beyond 2030", Springer, Japan, (2016), <http://www.springer.com/us/book/9784431559498>

会議名称 「第7回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2025)」
The 7th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2025)

会期 2025年10月27日(火)~30日(木)

会場 仙台国際センター、980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

<https://www.senkyo.co.jp/impres2025/>

主催 (Organizers) 公益社団法人化学工学会、IMPRES2025開催実行委員会

共催 (Co-organizers) 化学工学会エネルギー部

会、東北大学等

実施体制 組織委員会委員長 加藤 之貴 東京工業大学 (General Chair)

実行委員会委員長 北川 尚美 東北大学 (Chair)

Proceedings Paper JCEJ, Applied Thermal Engineering, Heat Transfer Engineering, International Journal of Hydrogen, Energy Procedia などから Journal paper として刊行を予定

予定参加人数 参加者210名、発表200名(口頭100名、ポスター100名)

Research topics

- 1 Energy Storage and Transformation
- 2 Energy Carriers
- 3 Thermal energy conversion and storage
Thermal energy storages / Sorption heat pumps / Desalination / Others
- 4 Electric energy conversion and storage
Fuel cells / Battery, Electric storage / Photovoltaic and Thermoelectric devices / Others
- 5 Low carbon technologies
Hydrogen production, storage and systems / Carbon capture and utilization (CCU) technologies / Others
- 6 Materials for Energy
Materials to store energy / Materials to generate energy / Materials to transport energy / Others
- 7 Energy processes and material properties

Separation / Reactors / Heat and mass transfer / Thermophysical properties / System reliability (corrosion, sealing, selectivity, etc.) / Durability in repetitive operation including severe conditions / Others

- 8 Materials DX (digital transformation) , Data-driven approach, Materials informatics
- 9 LCA, Technoeconomic analysis, Energy system design and evaluations
- 10 Environment and Biomass energy technologies
- 11 Others

開催実績 2007年 IMPRES, 1st, Kyoto, Japan
2010年 IMPRES2010, 2nd, Singapore
2013年 IMPRES2013, 3rd, Fukuoka, Japan
2016年 IMPRES2016, 4th, Taormina, Sicily, Italy
2019年 IMPRES2019, 5th, Kanazawa, Japan
2022年 IMPRES2022, 6th, University of Barcelona, Spain